

「東京2020パラリンピック大会における第一次推薦内定選手について」

弊協会は2020年に行われます「東京2020パラリンピック大会」に推薦する男女日本代表選手について、下記の通り第一次内定選手を決めましたので、ご報告させていただきます。

男子

プロフィールは、上から ①強化ランク ②ポジション ③ゴールボール歴 ④障害名 ⑤生年月日 ⑥身長 ⑦クラス ⑧出生地 ⑨出身地 ⑩現在活動地 です。



B
センター
4年
網膜色素変性症
1991年2月16日
168cm
B2 2020/3/23変更
広島県三原市
広島県竹原市
埼玉県所沢市

田口 侑治
Taguchi Yuji
所属 リーフラス株式会社

センタープレイヤーとして高い守備力を持ち、国際大会においてチームの守備原則である、ウイングとの間をしっかりと守り切れる選手であることから選出した。また、試合に向けた準備や身体のメンテナンスへの意識の高さなど、日本代表として他の選手の見本となることを期待している。

アジアパシフィック選手権大会では、準決勝のイラン戦において、負けはしたが、攻撃力のあるイランを3点以内に抑えた点は非常に評価できる。



B
ライト
7年
レーベル病
1997年1月5日
165cm
B1
千葉県野田市
茨城県取手市
埼玉県所沢市

山口 凌河
Yamaguchi Ryoga
所属 関彰商事株式会社

ウイングプレイヤーとして高い得点力を持ち、国際大会においてチームが狙いとしている攻撃が実行できる選手であることから選出した。また、物怖じしない性格で大舞台にも強く、東京パラリンピックでの飛躍が期待できる選手である。

アジアパシフィック選手権大会では、東京パラリンピックの出場権を獲得した中国を含め、全試合で得点を挙げた。特に、予選の中国戦では、ペナルティを決め、その直後、コントロール精度の高い速攻で連続得点を挙げた点は非常に評価できる。



A
レフト
4年
レーベル視神経症
2000年2月8日
167cm
B3
埼玉県さいたま市
埼玉県さいたま市
埼玉県所沢市

金子 和也
Kaneko Kazuya
所属 埼玉県立特別支援学校埼玉保己一学園

ウイングプレイヤーとして高い得点力を持ち、速いグラウンダーとバウンドボールの異なる球種を投げ分けながら得点を奪うことができる選手である。幅を広く使った移動攻撃や速攻など、チームの攻撃のバリエーションを豊かにすることができる選手であることから選出した。チーム唯一の左利きであり、他者との違いを生み出すことを期待している。

アジアパシフィック選手権大会では、韓国との3位決定戦において、相手に行きかけた流れを1球で変えて、勝利に結び付けた点は非常に評価できる。



B
レフト
1年半
網膜色素変性症
1995年3月20日
182cm
B3
大阪府吹田市
大阪府吹田市
埼玉県所沢市

宮食 行次
Miyajiki Koji
所属 株式会社サイバーエージェントウィル

ウイングプレイヤーとして高い得点力を持ち、高さの異なるバウンドボールを投げ分けながら得点を奪うことができる選手である。ゴールボール歴は短いですが、国際大会ではセンターのポジションにも適応し、先発でも途中出場でも与えられた時間の中で結果を残すことができる器用な一面もある。競技スポーツ経験を生かし、チームをまとめ、より良い方向へ引っ張る力があることから選出した。日本代表選手として、東京パラリンピックでの大きな飛躍が期待できる選手である。

アジアパシフィック選手権大会では、予選のイラン戦で複数得点を奪ったことや、準決勝前のミーティングで、チームに必要な発言をしてチームがまとまるきっかけを作ったことなど、銅メダル獲得に大きく貢献した。



江黒直樹 男子ヘッドコーチのコメント

アジアパシフィック選手権大会の6名は強化指定選手の中で、国際大会においてチームが求める能力を発揮できた6名です。今回の4名は中でも地元東京でプレッシャー・期待のかかる中で、十分に能力を発揮できたと判断し、4名を一次選考で選出しました。この1年間の成長度も含め、東京で目標を達成するために必要な選手です。

残りの2枠については、アジアパシフィック選手権大会のメンバーで東京まで作り上げることも一つの考えですが、まだまだ発展途上のチーム・選手なので、チームが成長するためのパフォーマンスを発表し続けられる選手を見極め、選出していきます。250日を切ってチーム編成ができていないことも不安ではありますが、目標を達成するために、まだまだ大きな壁を乗り越えないと達成はできないと考えます。選ばれた選手は自覚と責任を持ち、行動・発言をし、残りの2枠を目指す選手も、チームのために自ら何ができるか、アピールして、行動発言をしてチーム力向上を第1に発表し続けることを期待しています。

第二次推薦内定選手について（男子）

2020年3月の強化合宿終了後、選考会議を実施して決定し、3月に行われる理事会で承認後にお知らせします。

※2020年3月9日変更

第一次推薦内定選手のコメント（男子）

田口侑治選手

この度、内定を頂き大変気が引き締まる思いです。
目標は金メダル獲得です。この目標に向けて、日々精進し、大会に向け、最高の準備を行います。応援のほど、よろしくお願い致します。

山口凌河選手

内定していただき誠にありがとうございます。身が引き締まる思いと、代表としての責任を深く感じています。今まで支えて下さった全ての方々に、この場を借りて感謝申し上げます。感謝の気持ちを、パラリンピックの大舞台で発表するのが非常に楽しみです。世界一になるために今までやってきましたので、その喜びをみんなで分かち合えるように、全身全霊でプレイいたします。応援のほど、よろしくお願いいたします。

金子和也選手

内定をいただけたことをとても嬉しく思うと同時に、改めて大きな責任と覚悟を感じています。金メダル獲得に向けて、課題をクリアし、更なる飛躍をしていきます。応援のほど、よろしくお願い申し上げます。

宮食行次選手

この度は内定をいただき、誠にありがとうございます。目標である“金メダル獲得”の為、残された時間を最大限に生かして、周りが驚くような成長曲線を描けるように日々練習に励みます。“経過は己が為に、結果は他が為に。”この言葉を胸に、日々支えて頂いている方々に恩返し の形として結果を出せるに頑張ります。応援のほどよろしくお願い致します。

女子

プロフィールは、上から ①強化ランク ②ポジション ③ゴールボール歴 ④障害名 ⑤生年月日 ⑥身長 ⑦クラス ⑧出生地 ⑨出身地 ⑩現在活動地 です。



A
レフト
10年
先天性白皮症
1993年2月19日
165cm
B2
神奈川県横浜市
神奈川県横浜市
東京都北区

欠端 瑛子
Kakehata Eiko

所属 セガサミーホールディングス株式会社

女子チームの中で最速のボールスピードを有し、攻撃の軸となる選手であり、特徴的に国際大会で能力を発揮する技能を有しており、ライバル国からも常にマークされている選手である。上記に記載するように、国際大会になればなるほどパフォーマンスが高くなる選手であり、経験値でもロンドン、リオ大会でも活躍し、東京大会では攻撃の中心選手としての期待が高く、攻撃型の選手として選出した。



A
レフト
9年
線維性骨異形成症
1995年8月23日
164cm
B1
東京都あきる野市
東京都青梅市
埼玉県所沢市

若杉 遥
Wakasugi Haruka

所属 ALSOK

2つの選考大会を通して、常に安定した技能及び成績を残したことから、攻守において世界のトップレベルで戦える選手であり、その中でも24分間コートで動き続ける能力を有しており、攻守においてどんな場面でも起用することができる選手であることから今回の選出に至った。



A
ライト
5年
網膜色素変性症
1990年7月26日
155cm
B1
青森県八戸市
青森県八戸市
東京都

天摩 由貴
Temma Yuki

所属 株式会社マイテック

チーム内で2020ビジョンを特に理解しており、国際大会の舞台でも忠実にコーチングの指示を実行し、コート内でプレーとして表現できていることから選出した。アジアパシフィック大会決勝戦でも目覚ましい活躍を遂げ、体は小さいが、洞察力が高く、リオ大会でも経験を重ね、東京大会でも活躍が期待できることから今回の選出に至った。

市川喬一 女子ヘッドコーチのコメント

今回の3名の選出理由は、2つの大会(ジャパンパラ大会、アジアパシフィック大会)で、能力が発揮できた選手を選出しており、今回の第一次選考では、3名の選手がそれに該当すると判断したことから、今回の選出に至り、今回選出に至らなかった選手は、2つの大会で結果を出すことができなかったと判断した選手であります。

あくまで、2020年ビジョンとして掲げているコンセプトに沿ったプレーができる選手を選出しており、国際大会でそのコンセプトを発揮し結果として出すことができた選手をピックアップしています。

第二次推薦内定選手について（女子）

- ① 2020年1月フィンランド遠征終了後、選考会議を実施して**決定し**、2月15日の**理事会で承認後にお知らせします**。
※2020年2月8日変更
- ② フィンランド遠征の内容によって残り3名の選手が選出できなかった場合、再度2月から3月強化合宿もしくはそれに準ずる大会で選考会を**実施して決定**する可能性もある。その場合、**3月に行われる理事会で承認後にお知らせ**します。
※2020年2月8日変更

第一次推薦内定選手のコメント（女子）

欠端瑛子選手

今回は内定をいただきありがとうございます。沢山の方々の応援やサポートのおかげでここまで来ることが出来ました。しかし、世界に勝つためには、まだ私自身沢山の課題があります。一つでも課題を克服し、多くの自信に繋げ、笑顔で表彰台の1番高い所に立ちたいと思います。今後とも応援よろしくお願いします。

若杉遥選手

今回東京パラリンピックの代表選手の内定をいただき、ありがとうございます。本大会に向け身の引き締まる思いです。これからの期間で更に成長すること、そしてその力をチーム一つにできるように努力を続けていきます。

天摩由貴選手

この度内定をいただくことができ、再びパラのコートに立つことができる喜びを感じると共に、2020大会本番に向け気が引き締まる思いです。内定選手として恥じないプレーができるよう、また、パラの舞台で最高のパフォーマンスを発揮できるよう、これからもより一層気を引き締めて日々の練習に励みます。